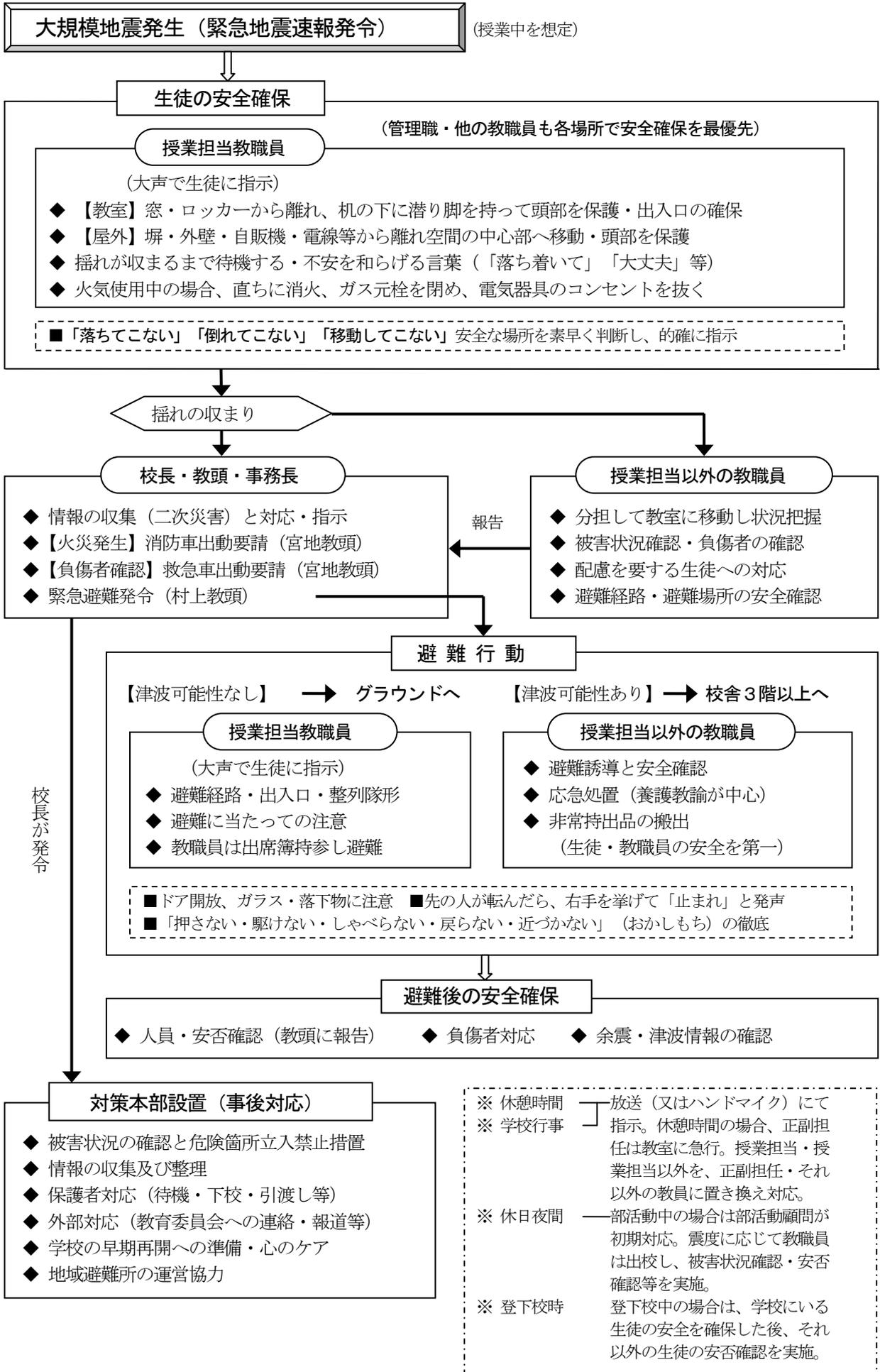


地震・津波発生時の緊急対応



大規模地震発生（緊急地震速報発令）

（授業中を想定）

生徒の安全確保

（管理職・他の教職員も各場所で安全確保を最優先）

授業担当教職員

（大声で生徒に指示）

- ◆ 【教室】 窓・ロッカーから離れ、机の下に潜り脚を持って頭部を保護・出入口の確保
- ◆ 【屋外】 塀・外壁・自販機・電線等から離れ空間の中心部へ移動・頭部を保護
- ◆ 揺れが収まるまで待機する・不安を和らげる言葉（「落ち着いて」「大丈夫」等）
- ◆ 火気使用中の場合、直ちに消火、ガス元栓を閉め、電気器具のコンセントを抜く

■ 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所を素早く判断し、的確に指示

揺れの収まり

校長・教頭・事務長

- ◆ 情報の収集（二次災害）と対応・指示
- ◆ 【火災発生】 消防車出動要請（宮地教頭）
- ◆ 【負傷者確認】 救急車出動要請（宮地教頭）
- ◆ 緊急避難発令（村上教頭）

授業担当以外の教職員

- ◆ 分担して教室に移動し状況把握
- ◆ 被害状況確認・負傷者の確認
- ◆ 配慮を要する生徒への対応
- ◆ 避難経路・避難場所の安全確認

報告

避難行動

【津波可能性なし】 → グラウンドへ

【津波可能性あり】 → 校舎3階以上へ

授業担当教職員

（大声で生徒に指示）

- ◆ 避難経路・出入口・整列隊形
- ◆ 避難に当たっての注意
- ◆ 教職員は出席簿持参し避難

授業担当以外の教職員

- ◆ 避難誘導と安全確認
- ◆ 応急処置（養護教諭が中心）
- ◆ 非常持出品の搬出
(生徒・教職員の安全を第一)

校長が発令

■ ドア開放、ガラス・落下物に注意 ■ 先の人が凍んだら、右手を挙げて「止まれ」と発声
■ 「押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない・近づかない」(おかしもち)の徹底

避難後の安全確保

- ◆ 人員・安否確認（教頭に報告）
- ◆ 負傷者対応
- ◆ 余震・津波情報の確認

対策本部設置（事後対応）

- ◆ 被害状況の確認と危険箇所立入禁止措置
- ◆ 情報の収集及び整理
- ◆ 保護者対応（待機・下校・引渡し等）
- ◆ 外部対応（教育委員会への連絡・報道等）
- ◆ 学校の早期再開への準備・心のケア
- ◆ 地域避難所の運営協力

※ 休憩時間
※ 学校行事
※ 休日夜間
※ 登下校時

放送（又はハンドマイク）にて指示。休憩時間の場合、正副担任は教室に急行。授業担当・授業担当以外を、正副担任・それ以外の教員に置き換え対応。
一部活動中の場合は部活動顧問が初期対応。震度に応じて教職員は出校し、被害状況確認・安否確認等を実施。
登下校中の場合は、学校にいる生徒の安全を確保した後、それ以外の生徒の安否確認を実施。